

## 育児相談サービス ご相談事例（3）

Q. うちの子の言葉の遅れが心配です。特に「さしすせそ」が上手く言えず、言葉も全体的に「たどたどしい」ように思います。

・事例： くろいわ しょうたくん（仮名）5歳のお母様からご相談

うちの子の言葉の遅れが心配です。特に「さしすせそ」が上手く言えず、言葉も全体的に「たどたどしい」ように思います。5歳ですし、小学校に上がった時にイジメられるのではないかと心配で相談しました。言葉の遅れがある子供の訓練ができる施設があれば良いのですが、少し前になりますが、小児科と耳鼻科の先生に「言葉」については相談したことがあります。その時は、特に問題は無いといわれました。でも、周りのよその子供と比べると遅れているようで心配です…。



回答：（看護師がお聞きいたしました。）

「言葉の遅れ」で問題になるのは、「発語」が遅い、「単語」の理解が遅れているとか、「単語」の数が少ない、間違った「発音」をするという点です。遅れているという「判断」には、幾つか注意点があり、例えば、（お子さんは5歳ですので）2～3歳頃と比べ、言葉の「理解力」はどうでしょうか？また、「独特のクセやしぐさ」はありませんか？そして、話すときに「アイコンタクト」はとれていますか？といったような事柄です。診察を受け、医師から「問題はない」といわれたようですので、様子を見てもいいのではないかと思います。もしご心配なようでしたら、お子さんに「より多く話しかけ」たり、「本をたくさん読んで聞かせる」などのコミュニケーションをとるように心がけてください。話すときのコミュニケーションのとり方で注意したいのは、お子さんが話そうとしている時に、お母さんや周りの大人が「代弁」するようなことがないよう、周りの大人が、「ゆったり」した気持ちで接することが大切です。それでもご心配な場合は、都道府県の「教育相談所」や「医療療育センター」で言葉の発達相談を受け付けていますので、ご利用なさっては如何でしょうか。勿論、今回のようにお電話でご相談いただいても宜しいかと思います。まずは、ゆったりしたお気持ちで、お子様に接するようにしてください。